

乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う自治体の取り組み状況に関するアンケート調査

市町村

平成26年11月26日に厚労省からの事務連絡を受理後の乳幼児健康診査の対応状況についてお伺いします。
あてはまる内容を選択し、必要時、意見をお書きください。

回答数: 448か所
(市町村全体の25.7%回答)
※参考
全国市町村数 1,742か所

- 1 現時点での対応状況について、あてはまるもの1つに「1」を選択してください
(1)システム(乳幼児健診の結果などを管理する)の改修について

質問項目	回答欄	
ア 実施済	133	29.7%
イ 平成27年度内に改定予定	52	11.6%
ウ 平成28年度以降に改定予定	58	12.9%
エ 実施の有無も含めて検討中	205	45.8%

448

- (2)問診内容の改定(通知文の内容を反映した問診内容)について

質問項目	回答欄	
ア 実施済み(一部のみも含む)	289	64.5%
イ 平成27年度内に改定予定	35	7.8%
ウ 平成28年度以降に改定予定	75	16.7%
エ 実施の有無も含めて検討中	49	10.9%

448

→ 問2へ

問4へ

- 2 問診内容の改定を**実施済み**(※注:1(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

- (1)各乳幼児健診の実施体制についてあてはまる内容を選択してください。

- ・「委託」を選択された場合には、委託先をお書きください。(例)「○医師会, ▲病院, 他4医療機関」
- ・「その他」を選択された場合には、実施体制、方法等をお書きください。

乳幼児健康診査	回答欄	委託先, その他の体制・方法等についての詳細						
		直営	委託	その他	未記入			
4か月	289	240 (83.3%)	42 (14.6%)	6	6	1		
1歳6か月	289	280 (97.2%)	6 (2.1%)	6	2	1		
3歳	289	283 (97.9%)	5 (1.7%)	5	1	0		

- (2)問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」(※注1)を入れていませんか。あてはまるものに「1」を選択してください。

	回答欄	
ア 実施済み	278	96.2%
イ 未実施	8	2.8%
ウ 今後、実施予定	3	1.0%

289

→問3(1)へ

問4へ

※注1: 指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を把握する問診項目

指標14の問診項目	3・4か月児	1歳6か月児	3歳児
1 しつけのし過ぎがあった	○	○	○
2 感情的にたたいた	○	○	○
3 乳幼児だけを家に残して外出した	○	○	○
4 長時間食事を与えなかった	○	○	○
5 感情的な言葉で怒鳴った	○	○	○
6 子どもの口をふさいだ	○	○	—
7 子どもを激しく揺さぶった	○	○	—

3 問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を実施済み(※注:2(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

(1)問診に記載後の保護者の反応についてあてはまるもの一つに「1」を選択してください。

	回答欄		
あり	73	26.3%	→問3(2)へ
なし	203	73.0%	→問3(3)へ
未記入	2		

(2) 保護者からの反応を具体的にお書きください。

複数回答があった意見

- 1 該当(○を記入)が多い、まじめな人が○をつけている
- 2 虐待者(恐れを含む)は○をつけない
- 3 虐待行為の程度がわからない
- 4 不快、答えたくない等の回答への拒否的な反応があった
- 5 「虐待を把握するためですか」など逆に質問があった

(3)実施側(主に保健師)で、課題と感じられることがありますか。

課題と感じることがある場合、あてはまるものすべてに「1」を、その他についてはお書きください。

	回答欄		
あり	232	83.5%	
なし	43	15.5%	→問3(4)へ
未記入	3		

課題と感じられること ※重複回答	回答欄	
問診項目の増加は、記載内容など聞き取りや確認に時間を要し、保護者の不満や不快感を与えるおそれがある。	133	57.3%
質問の表現に不安がある。対象者との信頼関係を損なう危惧がある。	136	58.6%
回答へのフォローが、対応した者の判断に委ねられる不安がある。	159	68.5%
支援体制の変更がないまま、聞き取りを広げることの不安がある。	145	62.5%
その他	107	

- 1 健診の問診内容としての精度への不安:虐待の可能性がある保護者の実態を反映できているか
- 2 明確な判断基準がないことへの不安:虐待事例と判断する基準、支援終結の基準、児童福祉部門への報告の判断基準、保護者が記入する際の判断基準がない
- 3 対応方法の統一化の必要性:保護者への説明方法、未記入の場合の確認方法、介入方法など統一化が必要
- 4 フォロー体制の整備への不安:要支援者のフォローの流れ、関係機関との連携方法、評価方法など健診後のフォロー体制が不十分なことへの不安
- 5 従事者の資質向上の必要性:研修体制、コンサルテーションが必要
- 6 所要時間の増加への不安:健診場面での聞き取りやフォローする時間の増加による保護者の負担感の増大

(4)実施後、良かった点(保護者からの反応も含む)がありましたら、お書きください。

主だった意見

- 1 聞き取りがしやすくなった
- 2 支援につなげるきっかけになった
- 3 保護者との子育て状況の振り返り及び育児支援のきっかけになった
- 4 統計として、全国との比較を期待したい
- 5 虐待の把握が可能となった

4 問診項目(指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」)に関するご意見(課題、不安など)について、ご自由にお書きください。

1 実施にあたっての不安

- ①保護者に不快を与えたり、信頼関係が崩れる不安
- ②健診やアンケートの拒否につながる不安
- ③集団の場で聞き取ることの不安
- ④育児のこと等が相談しづらくなる不安

2 設問への疑問

- ①表現の修正が必要

3 その後の支援やフォロー体制の未整備

- ①健診会場での保健師の支援の困難
- ②地域の体制等の未整備
- ③健診そのものへの影響

4 指標としての精度に対する不安

- ①虐待者が答えない疑念
- ②親の主観で回答が変わる